

2021 年度後期 数理学習センタープロジェクト発表会報告書

2022 年 1 月 31 日 (月)

1 月 26 日(水)SAKURAUM(3F)大講義室 A において、2021 年度(後期)数理学習センタープロジェクト発表会を開催いたしました。ご多忙の中、ご参加いただきました皆様により感謝申し上げます。

今期は学生主体で運営をする数理学習センターのチューター育成と学習支援の成果報告を行いました。概要は、①MSLC 活動報告と MSLC の組織づくり、②効果的な学習支援を行うためのチュータートレーニング、③MSLC の主な業務である連携授業の実践と成果及び課題、④MSLC 利用状況、⑤新規チューターによる発表の報告でした。前年度からのコロナ感染拡大の懸念で、対面でのチューティング数は激減しましたが、オンラインチューティングの成果として、前年度後期より参加者が 47 人（実人数）増え、今期は 118 人、延べ人数 581 人という報告がありました。最後の新規チューターによる発表では、チューターになる前となった後の変化について発表があり、MSLC の運営方法やチューティングの深い学びを理解することができ、チューターに対する学習支援のやりがいを見出し、新規チューターとして大きく成長することができたこと、そして、それらが新規研修の成果であったという体験発表となりました。

数理学習センターが、学生主体で学習支援の質を高めるためには、チューターの数理能力の向上や質問力、説明力、コミュニケーション力を高めるための研修が必要です。今期は、それらの研修において、グループワークや様々なロールプレイを取り入れ実践してきました。その結果、MSLC 内の雰囲気良くなり、組織の団結力が高まり、チューターの自信につながったこと等の報告もありました。また、利用者からの「MSLC で先輩チューターとの学びを通して、学習へのモチベーションが上がった。授業の予習復習が定着し深い学びができ、楽しく授業外学習ができた。MSLC がなかったとしたら、授業で理解できないときは、分からないままで学習意欲も下がってしまったと思う。」等のコメント紹介もありました。

今期は、特に学生が学習支援活動のノウハウを引き継ぎ、安心して後輩へバトンタッチを行うという流れが継承されています。センター長としてこのような MSLC チューターの活動を誇らしく思うと同時に、深く感謝しています。

今回は、大手前大学（兵庫県）から学習支援に携わっていらっしゃる教員及び学生が本学を訪問し、対面で参加する予定でしたが、コロナ感染拡大により、オンライン参加となりました。他に、地域の方の参加もありました。

今後とも MSLC の活動へのご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

(参加者 50 名：学生 13 名、教職員 7 名、学外参加者 10 名、MSLC チューター・教職員 20 名)

<発表会の様子>



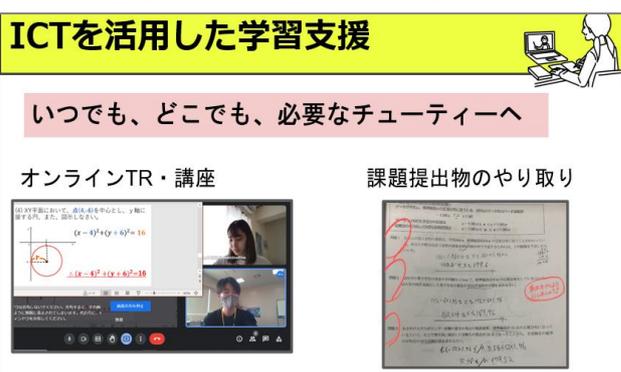
写真 1 リーダーの報告



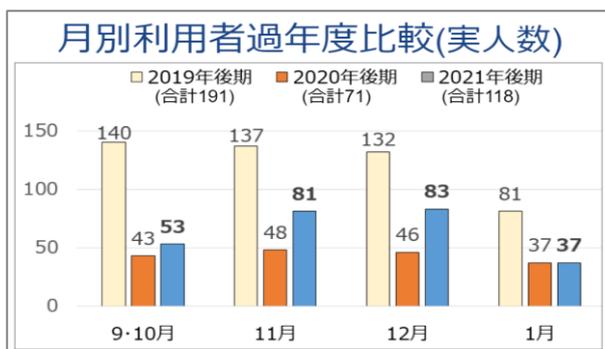
発表スライド 1 リーダーの活動報告



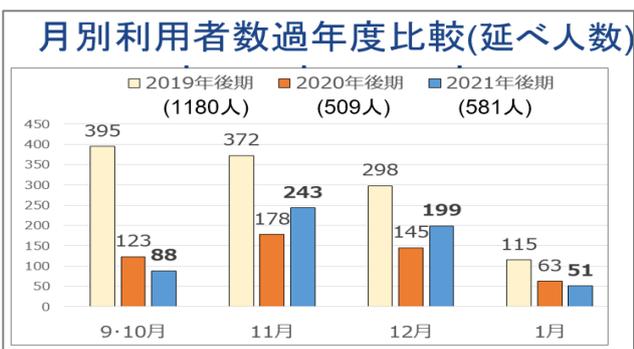
写真 2 ポスター等の掲示物紹介



スライド 2 ICT を活用学習支援の様子(オンライン講座)



スライド 3 MSLC 利用状況過年度比較



スライド 4 ICT を活用学習支援の様子(オンライン講座)



写真 3 新規チューター発表の様子



写真 4 参加者の集合写真

<参加者の感想> 感想をお寄せいただきました皆様に感謝申し上げます。

- ◇ チューターとしてのスキルアップのためのトレーニングとロールプレイを徹底した（現場にあった）2種類のトレーニングがなされていることに感銘を受けた。多大な時間をかけて支援の準備がなされていることがわかりました。素晴らしい！のひとことです。
- ◇ 目標をしっかり意識した授業連携がなされていて、とても有意義な取り組みに感動しました。
- ◇ この取り組みはとてもユニークで、驚きました。新規チューターの視点から成長までをわかりやすく発表していたのは、印象深かったです。みなさん、本当にお疲れ様でした。

<大手前大学ピアサポーター(PS)の感想>

- ◇ 次の代への引継ぎやチュータートレーニング、新規チューターの教育などチューターの育成がしっかりしているなと思いました。またチュータートレーニングでは MSLC で対応している科目の勉強に重点を置き、チューター自身の学びに焦点を当て、勉強会を通してプレゼンテーションのスキルやチュータリングスキルを身につけているという事がわかりました。担当科目に焦点をあてることで自身の専門科目であった場合スキル向上が見込めるのではないかと思います。
- ◇ 利用者が9割以上*という話を聞き、驚きました。大手前大学は、専門的な対応に特化していないということもありますが、まだ学修サポートセンターの存在を知らない学生も多いため、より広報活動に取り組む必要があると実感しました。
（*利用者9割以上とは、教養教育3科目の利用率は95.8%）
- ◇ チュータリングをカウンターのようなところでされている写真があり、質問する担当者などが一目で分かりやすいと思いました。また、大手前大学では、PS 同士の面談などはないため、リーダーがいて、チューター同士で面談が行われているというのが興味深いと感じました。入退出のシステムについては、大手前大学でも入退出忘れが多いため、やはり課題なのだと実感しました。
- ◇ 新規チューターへの教育チェックリストの作成は教え忘れをなくし、また、何をすべきなのかを改めて確認できるという点で、大手前大学でも取り入れられる要素だと感じました。
- ◇ SNS でのコラム発信は興味を持ってもらうために大切なことを実践していると感じました。今年 PS として勤務してきましたが、SNS を利用した活動があまり出来なかったため、次年度からはこのような活動も取り入れると興味を持つ機会も増えるのではないかと考えました。